

# 四日市版コミュニティスクール報告書（令和2年度総括）

四日市市立朝明中学校

校長 海戸田 恵一

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

保護者及び地域住民が一定の責任を持って学校運営に参画し、学校教育活動の充実に向け、学校、保護者及び地域住民が協働し、「学校づくりビジョン」の実現を図ります。

取組としては、地域理解・地域貢献学習を主軸とし、地域住民との連携を積極的に図って推進し、地域に関わる学習と地域と連携した活動を展開していきます。活動を通して、生徒が地域に対する関心を高めたり見直したりするなどして、郷土を愛する心を育むとともに自己の生き方を考える力を一層育んでいきます。

### （1）活動内容

- ① 学校訪問、授業や行事の参観等により、教育活動への参画と評価を行い、学校を支援します。
- ② 地域の声を学校へ、教育活動の様子を地域へと情報の橋渡しをします。
- ③ 学校の教育活動を支援するゲストティーチャー等の必要な地域の人材や団体と学校の橋渡しをします。
- ④ 学校自己評価の結果や学校づくりビジョンに対する学校関係者評価をします。

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### （1）教育活動の実践事例

#### ① 生徒の活動・学力及び生活実態を把握する

本年度は運営協議会を3回開催しました。新型コロナウイルスの影響で年度当初の会議開催を延期したため、第1回会議の開催は7月になり、スタートが遅くなりました。

会議では、校長より学校の取組と生徒の様子を説明した後、各委員さんに、授業を参観していただきました。

また、体育祭や文化祭、総合的な学習の学習発表会等の行事も参観いただいて、教育活動と生徒の様子を把握していただき、落ち着いた学習状況や学習環境に対する高い評価とともに改善に向けたご助言をいただきました。

9月の第2回運営協議会では、初めて八郷小の運営協議会と合同の会議を開き、本校の生徒の様子を参観いただいた他、小・中の教育の違い、地域とのかかわり方の違いなども確認する場になりました。中学校区あげての取り組みで何ができるかといった話題にも及びました。

本年度最終の第3回会議では、来年度は大矢知興譲小の運営協議会との合同会議も実現したいという方向を確認しました。



写真は第1回（左）と  
第2回（右・合同開催）

## ② 地域の教育力を生かした特色ある教育活動

総合的な学習の時間を軸にして、各学年、教科や他の領域との関連を図った地域学習を実施しました。コミュニティスクールの取組が6年目となり、どの学年も前年度の活動を継承しつつ、一部取組内容を見直した計画を立てていましたが、新型コロナの影響により、校外施設への訪問や交流が難しい時期もあり、また地域のフェスタの中止も多く、活動が縮小されたことは否めません。

それでも各学年で工夫しながら、地域の力と人材を生かしたさまざまな学習活動を行いました。以下に列挙します。

### <1年生>

- ・くるべ古代歴史館のスタッフを招いた歴史講座（歴史館への見学・訪問は断念）
- ・北消防署分署を訪ねての防災学習



### <2年生>

- ・「その道のプロに学ぶ」

職業体験としての事業所訪問を断念したため、事業所の人に来ていただき、講話形式・簡単な体験形式での2時間講座を企画



<3年生>

- ・地域清掃活動（県道64号、北勢バイパスの清掃活動）を6月に地域の方とともに実施



### ③ 学習発表会

2月22日に、各学年の生徒が、1年間、総合的な学習の時間などに取り組んだ内容についての発表会を行いました。

1年生は、多文化共生学習として6人の外国人市民の方にお話を聞いて学んだことを、代表が発表しました。

2年生は、9月の「マナー教室」や11月の「その道のプロに学ぶ」で学んだことについて、グループによるマナーの実演なども交えながら、発表しました。

3年生は、修学旅行において広島で学んだことを代表の班が伝えました。

発表会には、コミュニティスクール運営協議会の委員の方々にも参観していただき評価していただきました。

### (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

コミュニティスクールの指定が6年目となり、生徒が地域に出て活動したり、地域行事に参加したりする機会が増える予定でしたが、本年度に限っては計画の根本的な見直しを行い、各種の訪問・参加の機会がなくなりました。

一方で、主に講話の形で、学年単位で講師としてさまざまな立場の方にお越しいただき、お話を伺う機会を増やして対応してきました。

2学期末に取った学校教育診断の集計結果では、【特色ある教育課程の編成】の「総合的な学習の時間や行事等は特色ある教育活動を行っている（生徒：興味や関心を持って取り組める）」の設問で、生徒が3.4ポイント、保護者が3.2ポイントと引き続き高い評価を得ました。

また、【保護者や地域の人たちとの連携】の項目では、生徒が3.4ポイント、保護者が3.3ポイントと生徒・保護者ともに昨年度より0.1ポイント下がりましたが、引き続き高い評価を得ました。

コロナ禍にあつて、学校教育に対する信頼は保たれているようであり、今後も、地域の方々や保護者の温かい支援のもと、活動形態を工夫しながら、地域に根差した教育の充実を進めていきたいと考えています。

## 3 今後に向けて

### (1) 生徒の現状から見える課題

授業や行事の参観を通して、運営協議会の委員のみなさんから、「落ち着いた授業の様子からは、先生と生徒の信頼関係もよく伝わってくる」、「聴く姿勢がよい。発表会では体育館全体に声が響くまでには至らなかったが、むしろマイクなしでどこまで伝わるか。今の聴く姿勢な

ら挑戦してもいいのではないか」といったお褒めの言葉をいただきました。

一方、課題としては、協議会の中で「もっと授業での活気があってもいい」「おとなしすぎるともいえる」との話題が出ました。教員間でも「全員が自分からあいさつをできているとは言えない」という印象があります。

子どもたちの、困難さに立ち向かう力が年々弱まっていることは全国的に指摘されているところであり、コミュニケーション力の向上を柱に据えた活力のあふれた学校づくり、は今後目指すべき方向であると考えます。

## **(2) 地域とともにある学校づくりの推進**

来年度は、八郷小に加えて大矢知興譲小の運営協議会とも合同開催を企画しています。小・中あわせた中学校区全体で、どのような学校づくりを目指すかを考えていく大きな一歩となります。運営協議会を中心に、学校と地域の双方向の取組をより推進し、地域とともにある学校づくりを進めるとともに、子どもたちの生きる力を育んでいきたいと考えます。

## 令和2年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立朝明中学校

委員長 毛利 良一

校長 海戸田 恵一

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5		
6		
7	第1回運営委員会（8日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会より委嘱状交付</li> <li>・運営協議会組織の確立</li> <li>・学校づくりビジョンの承認</li> <li>・年間計画と活動方針の検討</li> <li>・授業の参観</li> </ul>
8		
9	体育祭参観（15日） 第2回運営協議会（24日） 八郷小と合同開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両校のCS活動や教育活動の実態と課題の交流</li> <li>・授業の参観</li> <li>・今後の朝明中学校区の課題</li> </ul>
10		
11	文化祭（2日）	
12		
1		
2	学習発表会参観（22日） 第4回運営協議会（22日）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習発表会の参観</li> <li>・今年度の活動報告</li> <li>・次年度の活動計画（学校づくりビジョン（案））について</li> <li>・学校教育診断集計結果・学校関係者評価</li> <li>・次年度運営協議会組織について</li> </ul>
3	卒業式参列（8日）	